峰のひかり

発行人
社会福祉法人 七峰会
理事長　大平　和夫

〒036-8356
青森県弘前市大字下白銀町21番地8
電話（0172）33-8861
FAX（0172）33-8862

お山参詣集団登拝

法人本部 事務局長　東谷　康生

令和８年９月10日（木）社会福祉法人七峰会として、秀峰岩木山へ８年連続となる集団登拝をさせていただきました。

参詣当日は、法人職員と利用者さん約１２０名にて、高さ７メートル超の五色幟（五色のぼり）２本と神号幟（白色のぼり）２本、御幣30本、餅や酒などの供物を連ねて岩木山神社を目指して歩をすすめました。

『弘前市熊嶋（障がい者総合支援センター拓心館）』を出発し、御幣や幟が風に煽られる場面もありましたが、沿道の皆さまからの温かい拍手や労いのお言葉を頂戴しながら、『オヤマ・アグリサービス バイパス店』に到着し、車輌にて『旧百沢小学校』まで移動した後に再度隊列を整え『岩木山神社』を目指して歩き、万事滞りなく参詣を終えることができました。

この『お山参詣』は、昭和59年に国の重要無形民俗文化財として指定を受けた由緒ある神事であり、津軽一円から多数の参詣者が岩木山を目指して集うことから、津軽地方最大の秋祭りとも評される祭事です。

七峰会では『社会福祉法人としての地域貢献：岩木山や旧岩木町への恩返しとして地元最大の秋祭りを継承する』『法人職員としての一体感醸成：どの施設からも必ず拝むことのできる岩木山への参詣にて職員間の交流を図る』という目的実現のため、参詣当日まで準備をすすめて参りました。特に今年は、白色のぼりを２本新調し、新たな気持ちで臨む年ともなりました。

毎年のこととなりますが、集団登拝を終え、微力ながら岩木山や旧岩木町への恩返しができ、また法人職員の一体感醸成も実現出来たものと捉えています。

当法人では、以後も継続して『お山参詣』集団登拝に参加して参りますので、引き続き、皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



出発式



ご祈祷



全体集合写真

山郷館黒石グループ
『事業所見学』

山郷館デイサービスセンター黒石
管理者　佐藤　光

令和８年９月16日（水）、山郷館デイサービスセンター黒石（就労継続支援Ｂ型）に、黒石養護学校中等部２年の生徒７名が事業所見学に来ました。作業の様子（クリーニング、リサイクル等）を実際に見た生徒からは「工賃はいくらですか？」「作業時間は何時間ですか？」など、様々な質問が飛び交い、将来の進路選択に積極的な姿勢を見受けられました。

今回の見学を通して、実際の作業現場を見たり職員へ質問したりすることで、『働くこと』への関心を深める機会となったと感じています。

地域の学校に通われている学生の皆さんが、自分に合った進路を考えることができるように、今後も事業所見学や実習等の受け入れを積極的に行ってまいります。





拓心館グループ
実習生の受け入れを通して ～選ばれる事業所を目指して

就労サポートひろさき
管理者　田中　真惟子

拓心館グループでは、今年度も特別支援学校からの実習生を積極的に受け入れ、10月の後期実習では、計４名（就労継続支援Ｂ型２名、就労移行１名、生活介護１名）がそれぞれの目標に向かって共に取り組みました。

実習生の中には、幼児期より児童発達支援センターはぁとを利用し、通い慣れた場所で実習をしたいと選ばれた実習生もおり、実習期間中は、「家も近く、安心して実習することができる」「販売は緊張するけど楽しかった」といった声とともに笑顔が多く見られました。

これからもご本人やご家族、学校関係者の皆様に、実習だけでなく卒業後の進路として「選ばれる事業所」であり続けられるよう取り組んでまいります。



旭光園グループ
「初めての試み」

障害者支援施設旭光園
職業指導員　中野　大輔

今年、浪岡養護学校さんから旭光園に実習生が来てくれました。今回は、医療的ケア（喀痰吸引等）が必要な方のため関係者の皆様と打ち合わせを実施しています。ご家族、学校側もさることながらご本人の「仕事をしたい」という思いを大切にしながら「どうすれば受け入れることが可能か」を検討しました。ご家族・学校から医師へ相談し、医師の指示書をご準備いただくことで施設でも必要に応じて喀痰吸引を行える体制を整え、実習実施となりました。ご本人は初日から非常に積極的で、40人の利用者さんを前にしても大きな声で挨拶し、割箸の差し込み・シールの検品・菓子箱の中敷き折り・パソコンの入力など多くの作業を体験し、ご本人から「非常によい体験ができました」と後日お礼の手紙をいただきました。今回の実習を通して課題もありましたが、何より医療的ケアが必要な方でも環境や体制を整えることで「B型でも受け入れが可能」という新たな可能性を実感しました。来月には２回目となる２週間の実習を予定しています。次回も本人の可能性を伸ばせるよう支援していきます。





拓光園グループ
社会福祉実習の受け入れ ～将来の福祉人材育成～

障害者支援施設拓光園
生活支援員　佐藤　昂祐

拓光園では毎年、次代を担う福祉人材育成のため地域の大学から社会福祉実習を受け入れています。今年度も弘前学院大学の学生３名が実習を行いました。

利用者さんとの交流や茶道サークルへの参加、障害福祉サービスや意思決定支援などに関する講義やお山参詣の集団登拝を通し、障害福祉や地域への関わりへの理解促進を図りました。

また、利用者さんへのアセスメント、個別支援計画の作成・実施、評価を実際に行ってもらい、相談援助技術の実践と獲得に努めました。



11月には岩手県立大学の学生の実習受け入れも予定しています。拓光園では今後も福祉人材育成のため、積極的に実習生の受け入れを続けていきます。

青葉もみじグループ
心を込めて作った野菜をひらかわフェスタで販売

障害者支援施設青葉寮
管理栄養士　新谷　快

ひらかわフェスタに参加し、利用者さんが日頃の農作業を通して大切に育てたじゃがいもとねぎを販売しました。昨年は出店できなかったこともあり、今年の出店を目標に、利用者さんはより一層意欲を持って農作業に取り組んでいました。

当日は職員が販売を行いましたが、多くの方にお買い求めいただき、お昼頃には無事完売することができました。購入された方から「立派で良い野菜ですね」とお褒めの言葉をいただき、日頃の努力が実を結んだことを嬉しく感じました。後日、そのことを利用者さんに伝えると、皆さん嬉しそうな表情を見せていました。



また、「来年は自分も行きたい」と話される方もおり、今回の経験が今後の農作業への意欲につながっている様子がうかがえました。これからも利用者さん一人ひとりの思いを大切にしながら、来年の参加を目標に農作業に取り組んでいきたいと思います。

サンアップルホームグループ
「令和8年度敬老会を開催しました。」 ～日頃の感謝を込めて。長寿のお祝いと多世代交流～

特別養護老人ホームサンアップルホーム
介護職員　山本　さくら

９月21日「敬老の日」に、サンアップルホームで敬老会を開催しました。

現在青森県内では１００歳以上の方が１００３名と２０２６年初めて１０００人を超えたそうです。地域でもご高齢の方が増えている中、当施設でもご長寿の方がたくさんいらっしゃいます。90歳以上の入居者様が42名、１００歳以上の方が４名、最高齢の方は今年１０５歳を迎えられました。

敬老会では、日頃の感謝の気持ちをお伝えするとともに、入居者様のこれからのご健康とご長寿を願いお祝いしました。また利用者さんとご家族との食事会も行い、楽しいひと時を過ごしました。



余興では、弘前市浜の町にあるサンこども園より園児の皆様が来訪され、元気いっぱいに、可愛らしく温もりのある歌と踊りを鑑賞し、泣きながら感動をする利用者さんも多数おり思い出に刻まれた時間でした。また弘前大学のよさこいサークル焔舞陣さんより、敬老の日スペシャルショーと題しまして、素晴らしい演武を披露していただきました。

サンアップルホームでは「地域福祉の推進」と「多世代交流」を大切にしています。これからも地域のつながりを大切に、世代を超えて交流を深めていくとともに、ご長寿への敬いと感謝を忘れずに、入居者様に笑顔で過ごしていただくための活動を行っていきたいと思います。



山郷館弘前グループ
「弥生地区七峰会施設防災協力会」による防災訓練

障害者支援施設山郷館
主任生活支援員　赤平　志保

弘前市弥生地区には、当法人で運営する『障害者支援施設拓光園』『障害者支援施設山郷館』があり、昭和63年に弥生地区３町会(杉山町会・弥生町会・上弥生町会)と「弥生地区七峰会施設防災協力会」を発足し、防火・防災のための協力体制が構築されています。

令和８年８月21日、障害者支援施設山郷館にて毎年実施している防災訓練を実施しました。弥生地区３町会の皆様、船沢地区第７消防団団員の皆様にお集まりいただき、山郷館周辺で山林火災が発生、福祉避難所となっている岩木庁舎まで利用者の皆さんの避難・誘導を想定し、車いすの操作、車いすごと乗車可能なリフト車両の見学・乗車体験を行いました。なじみのある普通型車いすに加え、ティルト・ベッドタイプの車いすは初めて目にしたという方もあり、実際に触れて体験することで、車いすへの理解を深める良い体験となったとの声が聞かれていました。

訓練終了後の反省会、総会では先の令和８年熊本地震や、近年増加している日本各地での大雨による水害、平成３年の台風19号なども話題にあがり、これらの災害を振り返る中で、いざという時に備え、日頃から準備や訓練をしておくことの大切さを改めて認識する機会となりました。

今回の訓練を通じて得た経験を今後の活動に生かし、利用者の皆さん、地域の方々が安心して暮らせるよう、これからも日頃からの備えと地域とのつながりを大切にしながら、防災意識の向上に努めていきます。





編集後記

夏の喧騒が過ぎ、利用者の皆さんと共に《お山参詣 集団登拝》を終えた今、秋の気配が深まる日々を感じています。

秋晴の候、岩木山の清々しい空気の中で体験した《ひと時》が、皆さまの心にも静かに届くことを願いつつ、次号でも法人そして各施設グループの取り組みをお伝えして参ります。

本部事務局長　東谷　康生

各施設グループのホームページでも情報発信中！

相談

サンアップル 居宅介護支援センター	☎097 2131
七峰会総合福祉相談支援センターピリーブ	☎082 5740
七峰会相談支援事業所ひらかわ	☎057 5155
山郷館サポートセンターくろいし	☎088 5018

高齢者介護

サンアップルホームグループ

特別養護老人ホームサンアップルホーム	☎097 2111
サンアップルホームデイサービスセンター	☎026 5330
サンアップルヘルパーセンター	☎055 3758
認知症グループホームアップル	☎097 2778
認知症グループホームわかば	☎097 1176
デイサービスセンターわかば	☎097 1165

障がい者支援

山郷館弘前グループ

障害者支援施設山郷館	☎097 2211

山郷館黒石グループ

障害者支援施設山郷館くろいし	☎053 3070
山郷館総合支援センター黒石	☎088 5018
山郷館くろいし共同生活援助	☎088 8651
児童発達支援センター花りんご	☎088 9345

旭光園グループ

障害者支援施設旭光園	☎057 5155

拓光園グループ

障害者支援施設拓光園	☎095 2331

拓心館グループ

障がい者総合支援センター拓心館	☎082 4520
津軽生活支援センター	☎082 4520
就労サポートひろさき	☎082 5770
自立訓練事業「通勤寮拓心館」	☎082 4520
児童発達支援センターはあと	☎082 5780
エイプル	☎057 9060
児童デイサービスセンターど・れ・み	☎088 5546
生活介護事業所おおくぼ	☎033 7300
ヘルパーセンターおおくぼ	☎033 7357

青葉もみじグループ

障害者支援施設青葉寮	☎044 8231

委託事業

青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター	☎082 4524
弘前市委託事業 弘前市北部地域包括支援センター	☎095 2100
弘前市委託事業 地域活動支援センターくれよん	☎057 9040
黒石市委託事業 山郷館サポートセンターくろいし	☎088 5018